



横浜市立秋葉中学校

令和7年8月29日発行

# 学校だより

電話 811-6773 FAX 813-9438

## 応援の力・応援される力

校長 柿崎 順子

夏休み中、部活動の大会、英語スピーチコンテストなど、様々な場面で本校生徒の生き生きと活動する姿をたくさん見ることができました。

大会そのものに選手として参加して頑張っている姿も輝いていましたが、その姿を支える応援の力も忘れることができません。

3年生だけれどコートに立てなかった人、まだまだ大会には出られない1,2年生、自分たちの試合は負けてしまったけれど男子の応援をしていた女子、生徒以上に熱の入った応援をしてくださっていたご家族の方々・・・

もちろん、勝負は試合に出ている人どうしの戦いではありますが、もし、まったく応援がない中で戦っていたらどうだったのだろうと考えると、応援の力って大きいなあと感じました。

こうした特別なときだけでなく、何事においても人は自分ひとりだけで頑張れるわけではなく、応援があるからこそ頑張れることがあるということを忘れず、自分以外の人を応援できる力を付けてほしいなあと思います。

と、同時に「応援される人」になってほしいとも思います。

皆さんはどんな人を応援したくなりますか？

応援に対して無反応な人よりは、応援に対して感謝を伝えられる人  
挨拶ができない人よりは、気持ちのよい挨拶ができる人  
練習をさぼっている人よりは、まじめに取り組んでいる人  
壁にぶちあたったときに愚痴を言い続ける人よりは、何とかしようと努力する人  
仲間をないがしろにする人よりは、仲間を大切にしている人

などなど・・・

思わず応援したくなる人ってどんな人なんだろう？

具体的に思い浮かべたら、ぜひ、そのイメージに自分自身を近づけてほしいと思います。

部活動に限らず、一人ひとりが「応援される人」であってほしいし、仲間を「応援できる人」であってほしい。そんな仲間が増えていくことで、誰にとっても居心地のよい学校になっていくのではないのでしょうか。

いよいよ秋葉祭の準備も本格的にはじまります。クラスの中でも、学年の中でも、そして、学年間でも、お互いを支え合い、終わったときには、お互いをたたえ合える仲間となることを期待しています。